

てくてく
古道を歩こう

第 1 回

み ゆ き み ち
御幸道

一宮編



笛吹市教育委員会
文化財課主催

「おみゆきさん」とは？

「おみゆきさん」は、一宮浅間神社、二宮美和神社、三宮玉諸神社が合同で甲府盆地の西の端の竜王三社神社まで御幸し、信玄堤で甲府盆地の水防祈願（川除の祭事）を行なう大神幸祭のことです。毎年4月15日に行なわれる大祭で、甲府盆地に春の訪れを知らせる祭りとして多くの人々に親しまれてきました。

古くから、甲斐一国の公祭として盆地中を水害から守るために執り行われてきました。江戸期には十万石の格式と謳われ、行列は鎧や薙刀、鉄砲などで厳重に警固され、その壮大さはいわゆる「宝暦の絵巻」などによりうかがい知ることができます。

この三社合同の神幸は明治7年に一旦廃止され、平成15年に復活しました。川筋の変遷や交通事情などにより、御幸の経路も変動が見られますが、紅い襷に色とりどりの単衣を着て、紅白粉の担ぎ手が「ソコダイ ソコダイ」の掛け声とともに練り歩く御輿ぶりは華やかで、盆地の春の風物詩となっています。



浅間神社

甲斐国一宮。御幸道の出発点です。
今から約 2 千年前、現在の摂社山宮神社にお祀りされたと言われ、貞観 7 年の富士山大噴火の翌年（865 年）、木花開耶姫命（このはなさくやひめのみこと）を現在地にお遷りしてお祀りしています。

① 鞍社

もとは塚があって、その上に祀られていたと言います。神官はここまで歩いてきて、ここに鞍を置いてから乗ったので鞍掛社となったといわれています。今は塚もなく、石祠が廃寺となった真光寺山門近くの個人宅に移されています。

① 真光寺

真言宗。宥日上人が慈眼寺の隠居寺として建てられたと言います。昭和 36 年慈眼寺に合併されました。



① 末木の石造物群

真光寺参道の北側にあったものが移されました。廻国塔・文久 2 年の馬頭観音・水神祠があります。

② 盲社（めくらしゃ）

三座（御座）社のなまったものと思われます。神官が乗馬する間、御輿が休んだところで、もとは小塚の上に祠があったとか、「めくら地蔵さん」があったと言われている。

② 末木の道標

正面には右から、「右善光寺南無観世音菩薩左國分寺道」左側面は、「宝暦□」とあります。「右善光寺」は甲府市の善光寺のことです。左の「国分寺道」1番古い御幸道で、右の「善光寺道」は2番目に古い御幸道です。



「市道（いちみち）」とも言います。

④ 味噌なめ地蔵

堂内に、六地蔵及び六軀の地蔵像を祀っています。今でも味噌を地蔵になめさせお祈りをすると、霊驗あらたかるとされ、堂の前でミソをすり、口になめさせています。



⑤ 御輿休憩所（岩間邸）

当家の主婦が、御輿の神社出発と同時に機を織り始め、到着までに出来上がった白布を献上したといい、またここでは一行に甘酒が振舞われました。

⑥ 国分の道祖神

石積みの上に丸石を祀っています。道祖神場には寛保6年の庚申塔、五社神社の石祠があります。道向かいには天明元年の道標があり

「右ふどうそん南無観
世音菩薩左こく婦ん寺」
とあります。

「ふどうそん」は、武田不動尊のことで、国分寺境内に石碑があります。



⑦ 国分の道標

馬頭観音の文字塔で、道標を兼ねています。

正面には右甲府道、馬頭
観音、左野道裏面には
「明治廿七年九月十六日
講中」とあります。



⑧ 経塚古墳

7世紀初頭に築造されたと考えられる横穴式石室を持つ古墳で、県の文化財に指定されています。墳丘の裾を巡る外護列石



が八角形を呈しています。八角形古墳は古墳時代の終末期に現れ、天皇陵を中心に全国に十例ほどしかありません。中部地方では唯一の八角形古墳です。

⑨ 四の橋際の道標

正面には、右一宮百番供養道。左八幡裏面には「文化二年乙丑秋八月浄林院掌不鳴居八士□焉」とありま



す。百番供養塔は、西国・坂東・秩父の百観音巡拝を記念し供養したもので、事情で現地の供養塔を代わりにお参りしたそうです。また、「八幡」は現在の山梨市八幡の窪八幡のことです。八代方面と山梨方面を結ぶ古くからの道の一宮（浅間神社）の分岐点です。

⑩ 竹原田の「山神宮」

石壇の上に、然
他の無銘の自、
石二基と並んで
います。昭和2
年、竹原田の
造立です。竹原
田区は金川の
洪水で両岸に
断されてしま
いました。



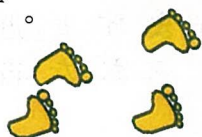
⑪ 竹原田の道祖神

石壇の上に丸
石を祀ってい
ます。近くに「津
島大神石尊大
神秋葉大神」
碑があります。
満願寺の西側、
市道と山梨市
面への古道の
辻にあります。



⑫ 竹原田の石造物群

満願寺前の市道
沿いの石垣の中
段に置かれています。
宝永2年(1705)
の庚申塔、地藏・
六地藏が並ん
でいます。



⑬ 満願寺

曹洞宗ですが、廃寺となっていて今は堂宇はなく、本尊であった十一面観音（県指定文化財）が小堂に安置されるのみです。入口に巡拝塔及び元禄12年（1699）の万霊塔があります。三界万霊塔は、この世のありとあらゆる命あるものを供養するための塔です。



⑭ 鷺堂の蚕影さん

昔は毎年四月にお祭りが行なわれたといわれています。蚕影さんのお堂と並んで、石尊碑・丸石道祖神があります。

⑮ 甲斐奈神社

『甲斐国志』には「橋立明神」とあり、林部の宮とも呼ばれています。甲斐国の総社で、国常立尊・高皇産靈尊・伊奘諾尊・伊奘冊尊を祀っていますが、天正壬午の乱の際北条氏に味方したため、その後衰微したといわれます。近くで古常滑の大甕が発見されています。



①⑥ 東 原 の 庚 申 塔

庚申塔の一種です。
文字碑で、「青面王
寛政二年九月施主
講中」と刻んでいま
す。道を挟んだ対岸
の畑の中に無縫塔六
基が並んで、主に僧
侶の墓塔として使わ
れるとです。



①⑦ 泉 正 寺

浄土宗。天正十四年（1586）創立といわれています。

①⑧ 東 原 ・ 林 部 の 道 祖 神

道祖神場があり、ともに石壇の上に丸石を置く丸石道祖神です。東原の道祖神場には、いっしょに石尊碑



や青面金剛などが祀られ、林部の方には、明治21年造立の山神碑などがあります。

MEMO



てくてくコース

注意：出発前は必ず準備運動をしてからにしましょう。

★スタート地点・浅間神社

- 1・鞍社、真光寺、末木の石像物群
- 2・盲社
- 3・末木の道標
- 4・味噌なめ地藏
- 5・御興休憩所（岩間低）
- 6・国府の道祖神
- 7・国府の道標
- 8・経塚古墳



金川の森公園・・・トイレ休憩

- 9・四の橋際の道標
- 10・竹原田の「山神宮」
- 11・竹原田の道祖神
- 12・竹原田石造物群
- 13・満願寺
- 14・鷺堂の蚕影さん
- 15・甲斐奈神社
- 16・東原の庚申塔
- 17・泉正寺
- 18・東原、林部の道祖神

★ゴール・浅間神社





集合場所
(浅間神社)

スタート★
ゴール



林部の道祖神

清光院

鞍社・真光寺・末木の石像

①

末木の道標

②盲社

両ノ木神社北

甲斐
国分尼寺跡

一宮町末木

④味噌なめ地蔵

アル・ツガー

・イチブル

交通安全に気をつけて、
無理なく歩きましょう。

MEMO





MEMO



お疲れ様でした。



～古道を歩こう～

第 1 回

御 幸 道

一 宮 編

笛 吹 市 教 育 委 員 会 文 化 財 課

TEL 055-261-3342

END